

## 平成26年度行動計画（世話人案）

### 戦略Ⅰ 生業が支える『日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」』維持戦略

#### ① 宇治茶生産の維持対策

##### (1) 宇治茶関連基盤・施設整備支援

- ・宇治茶の生産基盤を支える茶園の改植やてん茶・玉露生産に必要な被覆棚整備、茶園管理用機械導入や製茶工場の機器整備を支援

#### ② 儲かる茶業に挑戦できる後継者・新規就農の仕組みづくり

##### (1) 宇治茶アカデミー（仮称）

- ・若手の茶生産者、茶流通業者が、自らの経営力と宇治茶の伝統と価値の継承・発信力を高めるとともに、**グループワーク**による参加者同士の交流・連携を深め、宇治茶のイノベーション創出につなげることを目的に、経営力向上、茶の生産、流通、マーケティング、**プロモーション**等の専門家を講師にセミナーを開催。

#### ③ 特色ある宇治茶づくり

##### (1) 宇治茶関連研究

- ・宇治茶のブランド力向上と生産効率の改善等を目指して、①茶の機能性を生かした新商品の開発、②玉露・てん茶の栽培・製法に関する研究、③新品種に関する研究、④安全、安心に関する研究及び⑤作業の省力化に関する試験等を実施

### 戦略Ⅱ 普遍的な価値のある「宇治茶のブランド価値発信」戦略

#### ① 宇治茶世界文化遺産登録プロモーション

##### (1) 宇治茶世界文化遺産ホームページの開設・配付カード作成

- ・世界遺産に向けた取組情報や応援団募集、候補地域の魅力など、宇治茶世界遺産に関わる情報を広く発信できる「**宇治茶**」「**Uji Tea**」で**ヒットする**ホームページを開設（8月頃開設）
- ・ホームページを周知するために配付カードを作成

##### (2) 地域活動の一体的なPR

- ・世界遺産の各候補地域における宇治茶に関連する加工品や観光ガイドなどの地域の取組を、**Web**や**行催事**などで一体的にPR（8月以降）

### (3) 宇治茶世界文化遺産シンポジウムの開催

- ・国内外の茶の研究者によるトークセッションなどにより、宇治茶の世界的な価値を発信するシンポジウムを開催（秋～冬）

## ② 宇治茶の海外発信

### (1) 国内の外国人に向けたPR

- ・留学や観光などで国内を訪れている外国人向けに宇治茶の魅力を伝える淹れ方教室などを実施（2回程度）
- ・海外観光客などが目にしやすいポスターなどに英語訳を併記

## ③ 急須でお茶を淹れ味わうおもてなし文化の再発見

### (1) 宇治茶おもてなし教室

- ・接客などの機会が多い旅館やホテルの従業員、企業経営者などを対象に、宇治茶でおもてなしができるように、宇治茶に関する講座と併せて淹れ方教室を実施（3回程度）

## ④ 宇治茶の価値を未来へ伝達する知の拠点づくり

### (1) 宇治茶文化講座の開催

- ・世界遺産登録に向けた取組の理解を促進し機運を盛り上げるために、登録を応援するファンの拡大や宇治茶の文化的価値を再認識できる文化講座を開催（7月以降4回程度）

### (2) 宇治茶アーカイブの構築

- ・宇治地域の茶園の栽培歴等を把握するために、宇治茶に関係する古文書の調査を実施（年内とりまとめ）

### (3) 宇治茶世界文化遺産ガイドコースの作成

- ・日本茶インストラクターや観光ガイド等によるワークショップを開催し、世界遺産の魅力を伝える世界遺産ガイドのあり方を検討しモデルコースを作成

## 戦略Ⅲ 宇治茶生産の景観が結ぶ「感動と共感の場づくり」戦略

### ① 宇治茶でおもてなしをテーマとした美しい景観の村づくり

#### (1) 宇治茶未来づくりワークショップの実施

- ・世界文化遺産の候補地域を中心に、地域の未来づくりプランを話し合うワークショップを候補地域で開催（10地域）

**(2) 宇治茶世界文化遺産モニターツアーの実施**

- ・大学生らによるツアーモニターを募集し、実際に地域を観光してもらい、その体験等をワークショップで報告（9月、10地域）

**(3) 宇治茶きらめき街道（仮称）の整備（府山城広域振興局）**

- ・宇治茶をテーマにした街道づくりのマスタープランを策定し、国内外からの観光客の受入も意識した宇治茶の街道にふさわしい修景整備を実施（案内看板・ビューポイントの整備等）

**② 宇治茶でおもてなし縁側カフェの開設（府山城広域振興局）**